

火打領域の入力



「火打領域」を入力した場合、性能評価計算書「表 5：火打ち構面のチェック」では、領域内にある火打ちの本数から、平均負担面積を算出して検討されます。

壁線間の火打ちの本数から平均負担面積を算出して検討する場合は、火打領域の入力は不要ですが、火打ちの仕様を確定させるために「初期設定／入力設定／入力標準設定値／一般設定 2」で、水平構面の「火打ち」を設定していただく必要があります。

入力設定

入力標準設定値 | チェック設定 | 加工設定 | シャクリ設定 | OK

材番号 | 評価金物 | 屋根オフセット | ベランダ設定 | キャンセル

別工程材木取設定

一般設定 | 一般設定2 | ピッチ設定 | ボルト設定

耐力壁

筋違 | 片方向筋かい(45×90)

面材(耐力壁) | 構造用合板 7.5mm以上

制振壁 | 制振壁

面材(準耐力壁) | 準耐力壁(構造用合板)片面

水平構面

床面 | 構造用合板24mm以上、根太なし直張り4周釘打ち、N75@150

小屋 | 構造用合板24mm以上、根太なし直張り4周釘打ち、N75@150

火打ち | 木製火打90×90

屋根 | 構造用合板(5寸勾配以下)

物件設定 | 入力設定 | 材設定 | 構造計算設定

1-2. 火打領域 の入力

1-2-1. 「要素」の画面が出たら、「配置」「その他」をクリックして「火打領域」をクリックする。

配置：火打領域

配置 | 削除 | 属性

要素

構架材 | 柱(大) | 柱(真)

平(大) | 平(真) | 端材材

その他 | 構計 | 間筋

部屋

開口部

座面線

地面線

屋根

寸法

角屋寸法

断面指定線

耐力壁

準耐力壁

床面構域

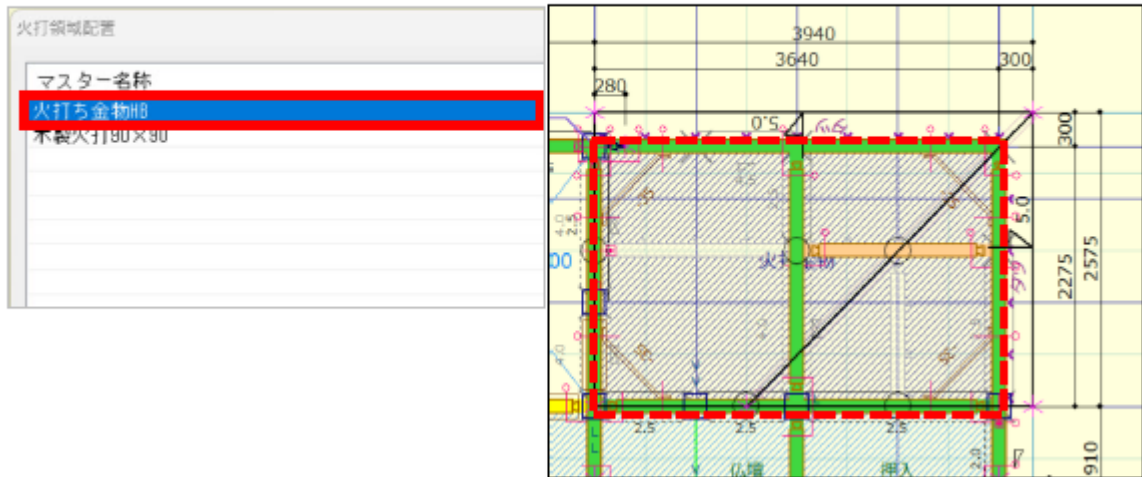
小屋(屋根)準耐力

火打領域

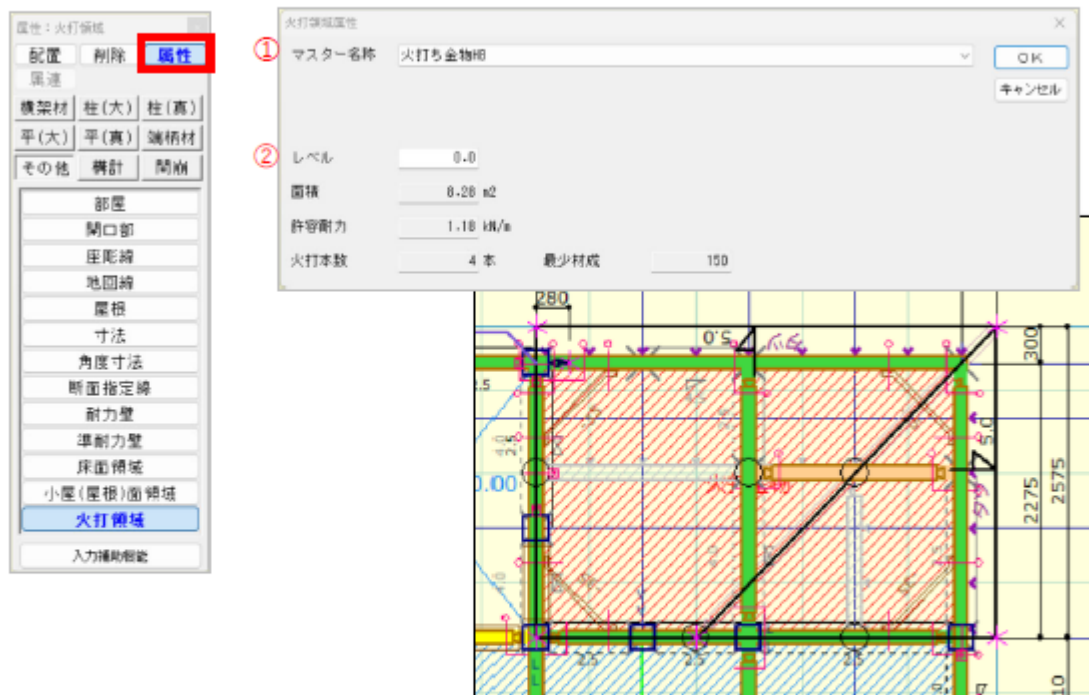
入力補助機能

火打領域の入力

- 1-2-2. 「火打領域配置」の画面が出たら、「仕様名称」を設定して火打領域を入力する。



- 1-2-3. 要素の画面の「属性」をクリックして、配置した火打領域をクリックし、必要の場合は仕様の変更をする。



- ① マスター名称・・・火打領域マスターに登録した仕様から選択します。

- ② レベル・・・火打領域のレベルを設定します。
配置されたレイヤの基準レベルが「0」となります。